

諏訪にいがた県人会・すわか文化村共催

越後の女・ふたり語り



温かい涙なくしては観られない
素敵な舞台

演目

○ 飴市縁起

／石原きくよ・文

／上杉謙信が信玄に送った

義塩のものがたり

○ ごぜ姉さ

／田名瀬咲子・作

○ おこんじょうるり

／さねとうあきら・作

(演目は変更することもあります)

プロに勝るとも劣らない技術で、心が豊かになりました。このような文化に直接ふれることができるのは有意義です。

過去の公演の感想

生き生きとした語り引き込まれました。言葉と動作が一体化していてその場・時代にいるようでした。

【日時】四月七日(日)

午後一時三〇分開演

【会場】諏訪湖ハイツ コンベンションホール
【木戸銭】大人一〇〇〇円・中高生五〇〇円

(一二時四五分開場)

▼ 予約が必要です ▲

《越後の女・ふたり語り》矢野要子・志村吏絵

新潟県上越市出身の矢野要子と、五泉市出身の志村吏絵が、ふるさと越後と信濃の架け橋になればと平成19年に結成、活動を始める。以来、毎年自主公演・諏訪市高齢者生きがい学級等に取り組み今日に至る。

にいがた県人会の方は、なるべく連絡係・毛利
090-4096-7065までお申し込み下さい。

予約・問い合わせ先 080-1040-7463 (すわか文化村)